

和牛の取引成績まとまる

昭和 37 年中の家畜市場

食生活の改善にともない食肉の需要は年を追うごとに増大の傾向を示しています。

そこで、この需要面に対する供給面、すなわち生産段階での和牛の取り引き状況について、取扱団体からの報告をもとに、このほど県畜産課で集計公表されたので、そのあらましをお知らせしましょう。

和牛は役肉用牛として飼育されていたのですが、

現在は役用から肉を主体とする肉用に転換させ飼養頭数の増大をはかり経営規模拡大により経営面での安定を図ろうとしています。

1、子牛の部（従来の産地市場）

公表された子牛の 37 年度の取り引きは、入場頭数 29,114 頭で、前年度より 3,755 頭も大巾に増加して

おり、これにあわせ売買成立頭数も 24,000 頭と昨年度の 22,005 頭を大きく上廻る取り引きが行なわれています。

しかしながら第 1 表に見るように、1 頭あたりの平均取り引き価格になりますとメス、オス、ヌキのいずれも月を追うごとに大体下降線を辿っており、第 1 図のように年間平均は昨年

に比し相当低価格で取り引きされていることがわかります。

これは昨年まで毎年伸長した現象から景気調整の影響を受け反落の段階に入ったことを示すものといえましょう。

入場頭数は新見阿哲、真庭および苦田津山の各市場が多いが、売買数は苦田津山、真庭、高粱の各市場が多く、新見阿哲市場は少なくなっています。売買率を見ると苦田津山の 89%、真庭、高粱の 85%と高率です

(第 1 表) 子牛の月別取引成績

月別	入場頭数(頭)	売 買 頭 数 (頭)					売買率 (%)	一頭あたり平均取引価格 (円)				
		計	メ	ス	オ	ヌ		キ	総平均	メ	ス	オ
計	29,114	24,000	10,561	10,356	3,083	82.4	33,800	40,400	25,600	33,000		
1	2,328	1,966	865	584	517	84	42,200	47,600	34,100	39,500		
2	3,182	2,641	1,191	1,377	73	83	38,500	43,200	32,600	49,400		
3	2,171	1,649	734	454	461	76	35,100	40,800	24,600	34,700		
4	1,301	994	439	385	170	76	34,200	38,600	28,200	33,900		
5	2,531	2,201	999	867	335	85	34,800	38,500	29,300	36,200		
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	2,449	2,143	1,022	766	355	88	33,900	40,700	28,700	28,900		
8	3,296	2,812	1,053	1,475	284	85	29,300	37,800	21,900	28,400		
9	1,713	1,607	701	576	330	94	38,500	49,100	27,700	32,700		
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	6,047	4,993	2,292	2,440	261	83	32,200	40,200	22,900	29,500		
12	4,096	2,994	1,265	1,432	297	73	28,100	34,300	20,700	23,500		

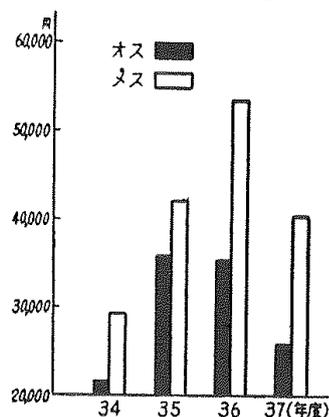
月別市場開設市場

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
市場名	高粱, 勝田, 御津	笠岡, 英田, 津山	勝田, 英田, 阿哲	御津, 高粱, 真庭	久米, 井原, 勝田	—	勝田, 御津, 英田	高粱, 笠岡, 津山	勝田, 久米, 真庭	—	勝田, 御津, 笠岡	阿哲, 英田, 津山

(第 2 表) 子牛の市場別年間取引成績

市場名	入場数(頭)	売買数(頭)	売買率 (%)	一頭の平均価格
御津	497	289	58.1	31,400
小田	329	227	68.9	26,900
井原	506	240	47.4	23,200
高見	3,826	3,264	85.3	36,100
新見	4,455	2,940	65.9	28,400
真庭	4,949	4,214	85.2	36,400
苦田	5,873	5,199	88.5	33,800
勝田	3,402	2,904	85.4	38,500
英田	2,401	2,094	87.2	31,400
久米	2,876	2,629	91.4	34,300
計	29,114	24,000	82.4	33,800

(第 1 図) 子牛の年間平均取引価格の推移



岡山畜産便り 1963.05・06

が、新見阿哲は66%と低率になっています。

また、1頭当りの平均取引価格は総平均で33,800円であり、これに比べ最高は勝田市場の38,500円となっており売買率も85%と順調です。

2、一般の部（従来の集散地市場）

入場頭数は昨年の37,292頭に対し36,843頭と449頭の減少を見せています。

これに伴ない売買頭数も昨年の26,782頭から24,893頭と1,889頭減の取引状況となっています。

取引された内容を見るとメスは全般的な減少の中にあつて12,053頭と昨年(11,843頭)よりわず

(第4表) 市場別年間取引成績

家畜市場	入場数 (頭)	売買数 (頭)	売買率 (%)	一頭の平均価格(円)			
				平均	メス	オス	ヌキ
計	36,843	24,893	68	62,190	68,640	37,550	73,020
金川	1,112	632	56	90,400	101,000	51,500	62,300
岡山	3,882	2,615	67	88,800	97,300	69,800	86,600
和瀬	6,971	3,914	56	57,300	64,600	26,200	61,800
瀬戸	1,335	853	64	76,300	90,000	61,400	75,100
敷	4,728	2,616	55	74,600	80,700	44,900	70,700
高梁	12,173	10,405	85	52,500	63,500	39,400	—
新見	560	375	67	39,300	43,300	35,300	—
久世	2,628	1,709	65	56,600	64,500	29,700	—
津山	3,444	1,774	52	65,900	68,100	43,400	68,100

かながら伸びていますが、オスは1,237頭減、ヌキは862頭減と大巾に後退しています。

1頭当りの平均取引価格は総平均では昨年の67,300円に対し62,190円で取引されており5,110円下廻る結果が出ています。

この内容を見ると、ヌキについては73,010円で昨年比で820円上廻っていますが、メスについては8,360円、オスは8,850円下廻る価格で取引され、これは昨年の平均価格よりメスは10.9%、オスは19.1%も下廻る価格となっています。

(第3表) 一般家畜市場の月別取引成績

月別	入場頭数 (頭)	合計 (頭)	売 買 頭 数 (頭)															売買率 (%)
			計			1才			2才			3~5才			6才以上			
			メス	オス	ヌキ	メス	オス	ヌキ	メス	オス	ヌキ	メス	オス	ヌキ	メス	オス	ヌキ	
計	36,843	24,893	12,053	6,112	6,728	1,792	3,510	150	1,811	1,521	2,253	3,513	794	4,261	4,937	287	64	67.6
1	3,290	2,317	1,113	558	616	208	340	20	131	153	209	428	77	378	346	18	9	70
2	3,302	2,126	1,015	500	611	204	280	18	148	147	203	365	55	387	298	18	3	70
3	2,832	2,025	989	465	571	158	277	20	127	127	175	333	45	369	371	16	7	72
4	2,926	1,967	946	468	553	121	275	13	144	123	161	324	59	376	357	11	3	67
5	2,446	1,481	697	333	451	89	230	6	56	55	131	183	36	307	369	12	7	61
6	1,410	968	368	74	526	7	34	4	10	23	97	66	13	423	285	4	2	69
7	2,915	1,820	798	361	661	108	233	15	76	59	202	228	58	439	386	11	5	62
8	2,642	1,952	867	583	502	116	329	14	129	87	183	246	89	297	376	78	8	74
9	3,635	2,539	1,299	692	548	177	344	11	187	178	220	344	125	315	591	45	2	70
10	3,198	2,133	1,042	627	464	117	322	8	143	150	169	260	114	284	522	41	3	67
11	3,472	2,465	1,433	633	399	224	310	15	335	258	134	387	43	241	487	22	9	71
12	4,775	3,100	1,486	788	826	263	536	6	325	161	369	349	80	445	549	11	6	65

(第5表) 月別県外移出頭数成績

月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他
総計	24,702	2,163	2,348	1,718	1,143	1,902	75	1,712	2,522	1,702	438	3,320	2,615	3,044
子牛	16,467	1,424	1,824	1,155	682	1,676	—	1,337	2,040	1,224	—	3,000	2,105	3,044
一般	5,191	739	524	563	461	226	75	375	482	478	438	320	510	

(注) その他は肉牛共同出荷等によるものの数である。

3、県外移出

年間の移出数は24,702頭で昨年を1,057頭上回る実績を上げています。

特徴として子牛は昨年比2,909頭増の移出をしていますが、一般の部では1,560頭減という数字が現われています。

しかしながら、取り

岡山畜産便り 1963.05・06

引き価格が昨年を大きく下廻っているため、移出頭数の増加の割には取り引き金額は少なく、昨年の12億5千万円を大きく下廻る10億7千万円となっています。

4、総取引金額

取り引き総頭数（子牛の部の入場頭数、一般の部の売買頭数）は、前年の52,141頭より1,866頭増の54,007頭となっていますが、1頭当りの取り引き金額が子牛の部で10,400円、一般の部で5,110円も下廻っているため、昨年の総取り引き金額31億4千万円より4億2千万円減の27億2千万円となっています。